

年間授業計画

東京都立東高等学校 令和5年度 年間授業計画 ( 1学年 )

教科 : 芸術科 科目 : 美術 I

対象学年組 : 1年 1～7 組

教科担当者 : 人見崇子、畑林和貴

使用教科書 : 美術 1 光村図書

教科の目標 :

- 【知識および技能】 基礎的な構図・画材の知識を理解し技術の向上・表現を習得する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞や作例を通じて、基本的な表現力を養い、芸術に深い関心を持たせる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な芸術性を養い、豊かな表現を理解し、意欲的に取り組む態度を養う。

科目の目標

【知識および技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な画材を生かした技術の向上を目指す。	基本的な表現方法を理解し、課題に沿った表現を判断、思考する力を養うことを目指す。	基本的な美的感覚を養い、意欲的に取り組む姿勢を目指す。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価基準	①知	②思	③態	配当時間
		絵・彫	デ	映						
1 学期	年間スケジュール・画材確認 基礎的な色彩表現を学ぶ。 平面構成の意味や手法について理解する。 着彩技術を理解し、表現力を高める。	年間カリキュラム・鑑賞 デザイン 「文字を使った平面構成」				①基礎的な色彩表現、平面構成の課題内容の把握、着彩技術の習得はできたか。 ②アイデアを思索し、レタリング文字の配置や文字の太さ、強弱は理解されて構成して表現できたか。 ③図案の工夫がされており、集中して取り組めたか。	○	○	○	14
	基礎的な鉛筆の使い方の習得。 構図の決め方・かたちの取り方や効果を学ぶ。 作例を鑑賞して、手法を理解し、空間や質感の表現を高める。 着彩技術を習得し、観察による密度のある表現を目指す。	絵画 「デッサンをしよう」 絵画・鑑賞 「ビンと果物を描く」	○			①基本的な鉛筆の使い方、削り方を理解できたか。立体的な描写技術を習得できたか。淡彩着彩表現を理解し技術の向上はできたか。 ②構図を理解し、モチーフを生かした質感や表現を判断して取り組んだか。 ③全体のバランスを把握し、細密描写に意欲的に取り組んだか。	○	○	○	12
2 学期	作例を通じて脊椎動物の特徴や構造を理解する。 正面図・側面図を作成し、プロポーションを理解する。 人体の動きによる間接の関係性、筋肉の連動性の理解を深める。 素材を理解しながら、完成までの計画的な制作スケジュールをたてる。	彫刻・鑑賞 「フィギアをつくらう」	○			①基礎的な人体の動き、構造の理解と研究はしていたか。脊椎動物の特徴や構造を理解して制作はしていたか。動作による関節の動きや筋肉のつき方を理解して肉付けできたか。平面図から立体把握の習得はできたか。素材の特徴を理解し制作技術を習得できたか。素材を生かした着彩をして、丁寧に取り組んだか。素材の保存や、道具類の技術を習得したか。 ②工夫がされており、アイデアを表現につながるように思考されているか。全体のバランスを掴み、修正などの技術を生かした制作表現はできたか。全体のバランスを考え、空間を生かした表現を試みているか。着彩での色表現は豊かであるか。	○	○	○	24
	細部の密度を高め、表現の向上を目指す。 着色・塗装の技術を習得し、素材への保存技術を理解する。 作例を鑑賞して、ことばから連想されるイメージを表現する。画材の性質を理解しながら豊かな表現を目指す。	画材研究・鑑賞 デザイン・絵画 「絵とことばのコラボレーション」	○	○	○	③完成までの時間とイメージ通りの立体化に取り組めたか。自主的に道具類の技術を用いて制作に取り組んだか。密度のある作品となるよう取り組んだか。	○	○	○	4

3 学 期	様々な画材を生かした表現、試作から制作まで意欲的に取り組むことを総括的に目指す。	デザイン・絵画 「絵とことばのコラボレーション」	○	○	○	○	①ことばの知識と意味を生かしたデザインはできたか。学習した技術は丁寧に制作され生かされたか。 ②画材研究の習得により、多様な表現方法で制作されていたか。紙素材を生かした表現はできたか。作例の応用はできたか。アイデアは豊富で工夫されているか。	○	○	○	12
	透視図法や紙質素材の特質や表現の幅を拡げ、技術的な向上を目指す。鑑賞による美的感覚の向上を目指す。	紙材研究・鑑賞・予備教材 「透視図法」・「ペーパーアート」	○	○	○	○	③積極的に課題を理解し、計画的に完成できたか。意欲的に課題に取り組めたか。	○	○	○	4
<b>合計</b>										70	